



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2015年4月号 さよなら、リーダー！



発行人：濱塚有史 編集人：家村知佳 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019-(623) 1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/>

「YMCAとの4年間」

澤口 栞（盛岡YMCAリーダーOG：おたま）



私が盛岡YMCAと出会って4年の月日が経とうとしている。大学生活を振り返ってみて、思い返すことの大半は盛岡YMCAで過ごした日々のことばかりである。アドベンチャーやキャンプ、その他様々な活動で出会った子ども達とのかけがえのない思い出。無我夢中で「楽しいってなんだろう。」を追求し続けたリーダーたちとの日々。私は、盛岡YMCAを通じて出会った仲間たちにほんとうにたくさんのことを学び、自分自身について考えさせられた。自分の良いところ、足りない部分、まわりのみんなが教えてくれた。周りの目を気にしてなかなか本音を切り出せない私を受け入れて本気で考えてくれる仲間ができたこと。私の人生における大事な財産となっている。そしてなによりみんなという時間が本当に楽しかった。「どんなことをキャンプでやったら楽しいだろう」「どうしてココがうまくいかないのだろう」「自分たちにはなにが足りないのだろう」時には日をまたいで

話し合ったりして、本気で向き合うことができる空間がとても好きだった。私は春から社会人として新たな道を進む。勤務先は、宮古市に決まった。私は宮古の「人」も「街」も大好きだ。そのきっかけをくれたのもYMCAでの活動だった。宮古ボランティアセンターを通じて、被災地の子ども達とのキャンプに参加した。様々な背景を抱えながらも、明るく前向きに強く生きる子ども達の姿に私たちのほうが勇気づけられた。今でもあの時のキャンプのことを思い出すと当時の楽しかった思い出で胸がいっぱいになる。YMCAの活動では本当にたくさんの出会いがあった。この4年間で出会った一人ひとりがかけがえのない存在になっている。盛岡YMCAが掲げる「君でいいんだよ」という言葉にも沢山励まされた。社会へ一歩踏み出すにあたって、時に悩み、時に苦しみ前が見えなくなることもあるかもしれない。そんなときYMCAで過ごした日々がきっと私を支えてくれるだろう。YMCAでの一人ひとりとの出会い、絆を大切にこれからも邁進していきたい。

さよなら、リーダー！

春は出会いと別れの季節。盛岡YMCAでも、4月から新たな道へと進むリーダー・スタッフを送り出すこととなりました。

3月2日に行われた送別会では、リーダー3名、スタッフ3名の計6名を送り出しました。送別会にはワイズメンズクラブの皆さんや、以前盛岡YMCAで活躍されていた

スタッフも駆けつけてくださり、賑やかかつ和やかな会となりました。

盛岡YMCAを巣立っていく彼らはそれぞれの道に進み、そして盛岡YMCAも4月からまた新たな一歩を踏み出すこととなります。それぞれの道の先で、またいつか、出会えることを願っています。

盛岡YMCAを巣立つリーダー・スタッフからの☆メッセージ☆



この度、盛岡YMCAを卒業することになりました。ゴリキこと大向陽明です。こうして今、卒業文を書くことになってしまった訳ですが、去年盛岡YMCAに仲間入りさせて頂き自己紹介文を書いたのが本当につい昨日のこのように感じます。

私は今まで子どもたちと接する機会がほとんどありませんでしたし、初めての経験尽くしでドタバタワイワイとやっているうちにあっという間に過ぎてしまった1年でした。最初は子どもたちとの接し方すらわからなく戸惑ったり悩んだりもしましたが、それは本当に最初だけで、すぐ仲良くなることができ、とにかくたくさん一緒に遊びました。子どもたちのパワーに圧倒されながらもそれに負けないくらい自分自身も楽しんでいて毎日がとても充実していたように思います。思い出を語るときがないので、どうしても伝えたいことを一つだけ。私が1年間盛岡YMCAで働かせて頂き、これこそ盛岡YMCA最大の魅力だなと感じたのは、一人一人が互いに認め合い、さらには自分のことも認めてあげる「君でいいんだよ」という言葉を大切にしているところです。この言葉をこれからも子どもたちに伝え続けてほしいし、私自身も大切にしていきたいと思います。

最後になりますが、濱塚総主事をはじめ、スタッフのみなさん、リーダーの皆さん、そしてYっ子のみんな、本当にお世話になりました。YMCAで学んだことを活かし4月から岩手県警察官として子どもたちの安心と安全を守るために精一杯頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

スタッフ 大向陽明（ゴリキリーダー）



「ぶーはサッカー下手だし弱いし、だめなぶーさんだから今日からだぶーって呼ぶね！」これはあるサッカースクールで、4年前に子どもから言われた言葉です。当時はこんな事を言われる自分自身が不甲斐なく、とても悔しかった事を覚えています。何をやってもカッコよくできない、こんなはずじゃない。そんな事ばかりを考えていました。けれど、そんな私のことを

子どもたちは「だぶー！俺達が居るから大丈夫だよ！」「だぶー！だぶーなのに頑張ったね！」と励ましてくれたのです。その時ハッとしました。私は自分をよく見せようとして空回りをしていたのだ、誰も背伸びをした私のことは求めていないのだ。「君でいいんだよ」それを教えてくれたのは、私のことを「だぶー」と呼ぶ子どもたちでした。

リーダーも子どもも支え合い、成長できる、そんな盛岡YMCAが私は大好きです。四年間ありがとうございました。

盛岡大学栄養科学部4年 高橋ちひろ（ぶーリーダー）



初めてYの活動に参加したのは小学校1年生。そこから、たくさんのキャンプ、アドベンチャー、サッカーなどの活動に参加してきた。リーダーや友達とはしゃぎまわったり、アツくなったり、泣いたりもした…（笑）

思い出は語りつくせないけど、どの活動を振り返っても、そこには不思議な安心感があつた。

いつも僕を気にかけてくれたり、笑わせてくれたりするリーダーがいて、面白いことをしたら笑ってくれるみんながいて。僕は、そんなYの雰囲気が大好きで、自分でも知らない本当の自分をさらけ出すことができた。

そして、いつの間にか自分もリーダーになっていた。

僕も、子どもたちに安心感を感じてほしい、楽しんでほしいという気持ちでリーダーをしてきた。

なかなか思い通りにいかない時の方が多かったけど、そんな時も、Yのリーダー仲間やスタッフのみんなは僕を支えてくれた。子どもたちに支えられたことも多い。

大学1年生の冬、あるキャンプに参加した時のこと。慣れないことばかりで余裕がなく、子どもたちにも注意の言葉ばかり言うてしまっていた。リーダーとしてやっていけるのか自信を無くしていた時、ある男の子が僕に手紙をくれた。その手紙のおかげで、僕には僕にしか出来ないことがあるんだと、改めて感じた。

盛岡YMCAは、常に「君でいいんだよ」と僕に伝え続けてきてくれた。それは、子どもの時も、リーダーになってからも。

4月には小学校の先生になる。今度は僕が、子どもたちに伝えていきたい。

きっと、それが今まで僕を支えてきてくれたYMCAへの恩返しになるんじゃないかな。と思っている。

東北大学教育学部4年 濱塚直樹（おいなりリーダー）



↑
今回、盛岡YMCAを巣立つみなさんで
す。



↑
盛岡YMCAを卒業する皆さんには、記念品と花束が贈呈されました。



築立っていきリーダー・スタッフ一人ひとりが、盛岡YMCAのみんなへ熱い思いが語られました。想いがあふれて、涙がこぼれてしまうシーンもありました。



↑
最後にみんなで記念写真。またどこかで会いましょう！

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 3月報告書

寒暖の差を繰り返し、いよいよ春の季節を迎えようとしています。3月は2014年度最後のプログラムがありました。アドベンチャー3月例会での凧作り。そして、凧揚げを子どもたちと楽しみました。宮古小でのサッカークラス。元気あふれる子どもたちと共に汗を流す事が出来、充実した時間を過ごすことができました。後半は、町内会、教会、二中仮設の方々行ってくれた送別会。本当にありがたいことです。宮古で過ごした2年間、苦しいときも、悲しいときも、嬉しいことも一緒に過ごし励ましていただいたことに感謝でいっぱいです。特に、2年目は一人での仕

事となり、多くの方が心配し、センターを訪れてくれ、町中で声をかけてくださり、仮設にも呼んでいただくことが多々あったことが思い起こされます。YMCAの活動である、地域に根ざした行いが実を結んだ1年であったように、今後もYMCAの活動が更なる地域密着型の活動を続けていく必要があります。盛岡YMCAに引き継ぎますが皆さんの活躍を願い、お手伝いできることはお手伝いしながらこれからも継続的な働きをしていきます。これからよろしくお願いいたします。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 斎藤勉



中々風に乗らない凧を子どもたちは走ってあげる試みをしていました。制作には3時間を要しましたが、休むことなく集中して作りました。



↑
新センターへの引っ越し作業！学Yのボランティア、山の会、地元の方々がお手伝い下さいました。



← 仮設でのイベントも充実！みなさんの笑顔が最高でした。



宮古での2年間を振り返り！

宮古ボランティアセンタースタッフとして2年間活動し、2年目はセンター所長も務めた斎藤勉さんが、任期を終え、4月より仙台に戻られます。以下は、斎藤さんからの、2年間の活動を振り返ってのメッセージです。

2013年4月1日からスタートした宮古での仕事。支援活動とともに、子どもたちのプログラム、高校生の育成などを中心に行いました。宮古での活動を通し、多くの方々に助けられ、知り合いとなり、ボランティアで来ているのに、逆に私の方が面倒を見てもらったように感じます。宮古の方々の温かさ。被災しているにも関わらず明るく振舞ってくれることに心苦しい事もありましたが、今となっては本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

木田さんと二人でスタートした2013年度、子どもたちのプログラム、高校生のプログラムも心配事がたくさんありました。参加者が少なくどう進めていったらよいか悩むこともありましたが、少しずつ軌道に乗り参加者も増えてきて一安心したことを覚えています。そして2014

年度がスタート。一人体制での不安を抱えながらも、地域の方々、他のボランティア。地元のNPO 団体の協力を得ながら進められた野外活動。継続は力なり、子どもたちの参加者も増え、YMCAがさらに認知を受けたのだと実感する年でもありました。高校生のプログラムでも継続して参加してくれる地元の高校生。地域のために、次の担い手としての歩みが進んでいることの嬉しさ。YMCAを通して大きく成長してほしいと願っています。YMCAに関わった子どもたち、高校生が少しでも地元を愛し、地元のために活躍してくれることを願い仙台に戻ります。

最後に、宮古ボランティアセンターに関わって下さった皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、仙台からエールを送りながら、時間があれば宮古に遊びに来ますのでまたよろしくお願いいたします。

盛岡YMCA宮古ボランティアセンター 斎藤勉



3月2日の送別会にて、斎藤所長を送り出しました。



3月23日に、かつての宮古ボランティアセンタースタッフである木田さん・大谷さんが宮古にいらっしゃいました。夏には初代センター長である池田さんも加え、4人で宮古を訪れようと計画しているそうです！

4月の予定

- ★4月7日
火曜水泳Ⅰ期開講
- ★4月8日
水曜水泳Ⅰ期開講
盛南サッカースクールⅠ期開講
- ★4月10日
盛北サッカースクールⅠ期開講
金曜水泳Ⅰ期開講
- ★4月11日
本町サッカースクールⅠ期開講
- ★4月13日
土曜サッカースクールⅠ期開講
月曜水泳Ⅰ期開講
- ★4月16日
松園サッカースクールⅠ期開講
向中野サッカースクールⅠ期開講
- ★4月18日
森のようちえん
「春をさがそう♪おさんぽキッズ☆」
(於：盛岡城跡公園)
- ★4月26日
4月アドベンチャー
「ハイキングに出かけよう♪」
(於：花巻広域公園)

★リーダーおすすめBOOK★



リーダー達のおすすめの本を紹介していくこちらのコーナー、今回の担当は、前回に引き続き、ぱっけリーダーです！

こんにちは、ぱっけです。私が皆さんにオススメしたい本は、「ひみつシリーズ」という本です。このシリーズは、よく図書館に置かれています。

「ひみつシリーズ」は、全部でなんと100巻以上もあるシリーズなんです！私がこのシリーズの中で一番好きなのは「チョコレートのみみつ」です。いつ、どうやってチョコレートができたのかということや、コアラのマーチの絵でどれがめずらしいのかなど、たくさんのおどろきと発見がありました。この他にも「バスケットのみみつ」や「トイレのみみつ」、「犬のみみつ」や「サッカーのみみつ」など、おもしろいものがたくさんあります。どの本も、みんなが興味を持っていることや疑問に思っていることをマンガで説明しているので、楽しみながら読める本です。この本を読んだら、誰かに話さないではいられないそんな本です！

子どもだけでなく、大人でも読んでいておもしろい内容となっています。ぜひ読んでみてください！

表紙の写真から



3月2日の送別会での一枚。写真中央は、宮古ボランティアセンターにて2年間スタッフを務めた濱藤勉さん。ゴリナリーダー（右）とちゅーリーダー（左）に囲まれ、笑顔の一枚です。

君でいいんだよ ～JUST THE WAY “YOU”ARE⑨～



「生きる」って？

先日、「住友商事東日本再生ユースチャレンジ・プログラム インターン終了報告会」が仙台で行われました。盛岡YMCAでも2名の学生を受け入れ、9ヵ月間宮古ボランティアセンターで野外活動や高校生との交流プログラムの企画・実施などの活動をしてもらいました。岩手、宮城合わせて9名の学生がそれぞれの取り組みを発表してくれましたが、その多くが出会いと気づきの大切さを語っていたのが印象的でした。

しかし、よくよく考えてみると彼らがインターン生として様々な経験ができた背後には、助成金を提供した住友商事の社員の方々はもちろん、中間支援のNPO、ボランティアを受け入れてくれた地元の人々など、数え切れない人たちの目に見えない様々な動きがあったからだと思うのです。そして、きっとインターン生自身も宮古での活動を通して目に見えない気づきを参加した子どもたちや、高校生に与えていたに違いありません。もしかして、「生きる」ことってこうした様々な出会いを通して得た目に見えない価値を自分ではわ

からない内に世代から世代に伝えていくことなのかも知れません。

昨年、YMCAを通して知り合った20年来的の友人と3人で会食をする機会がありました。一人は、宮城県の岩沼市で流された金物工場を再建しています。もう一人は、福島県の南相馬市で子牛の繁殖にチャレンジしています。傍目からはとても大変そうに見えますが、彼らは、屈託のない笑顔でこう語ってくれました。「やあ、生きるだけで精一杯ですよ」

「生きがいとは？」「生きる意味とは？」人間はとてか難しく考えがちです。また、職場や学校の人間関係などで悩むことも多いでしょう。しかし、もろもろのことをそぎ落としていくと「生きる」ことは案外とてもシンプルで、「生きていること」そのものに価値があるということを彼らから教えてもらいました。

「だから、明日のことまで思い悩む。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労はその日だけで十分である。」（マタイによる福音書6章34節）

(盛岡YMCA総主事 濱塚 有史)

☆リーダーって、なに？☆

YMCAの活動に参加されている方なら、「リーダー」という言葉をご存じの方も多いことでしょう。しかし、「リーダー」とは、一体どんな存在なのでしょう？

YMCAのさまざまなプログラム（学童・水泳・サッカー・野外活動）を支えるボランティアのことを、YMCAでは「リーダー」と呼んでいます。リーダー達は、救急法・安全理解・子どもの理解などといった盛岡YMCAの定めるリーダートレーニングを積み、それぞれのプログラムで活躍しています。彼らの存在は、プログラムをより楽しく、より充実したものにするために、不可欠なものとなっています。

そんな現役のリーダーたち、そしてかつてリーダーとして活躍していた現在のスタッフに、「リーダーって、なに？」といった、どんな存在なの？と、聞いてみました。それぞれたくさんの思いがあるようでしたが、その思いをそれぞれ一言に込めてもらいました。

～現役リーダー編～

- 「本当の兄弟以外で一番兄弟に近い存在」
シーパンリーダー
- 「子どもと一緒に何でも楽しめる存在」
ますおリーダー
- 「たくさんの人に見守られ、たくさんの人と友達になれる！」
つづ貝リーダー
- 「熱い心！」
ゴリナリーダー
- 「人を大事にする人」
あさりリーダー

～スタッフ編～

- 「友達を大事にする人」
ちゅーリーダー（向中野センタースタッフ）
- 「根性のある面白い人たち」
シロクマリーダー（本町センタースタッフ）

感謝

(2015年度3月30日現在
順不同・敬称略)

●維持会費

今野聖子、今野健男、角谷晋次、角谷千代子、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、濱塚真美、井上修三、井上浩太郎、井上優子、伊藤克晃、大開靖二、工藤直子、佐藤翔、川坂保宏、及川茂夫、及川恵、名古屋恒彦、熊谷貞文、小関悦子、阿部靖、川守田浩、金田節子、金野東輝子、森山日菜乃、森山幹大、滝川佐波子、押切梓、岡田虎治、伊藤真太郎、伊藤正美、及川忠人、重石桂司、伊藤真一郎、魚住英昭、高瀬裕彦、長岡愛彦、清水治彦、中屋重正、古澤伸、鶴丹谷三子、小林茂元、吉崎陽、小川嘉文、小川明佑、神田橋慧一、菊地弘生、今松桂子、木田泰之、千葉洋子、河合誠雄、熊谷久仁子、池田二郎、松尾聡子、社会福祉法人イエス団、友愛幼児園、中屋眞澄、中原眞澄、飯島隆輔、山口貴伸、松本武彦、深澤秀男、深澤多紀子、石渡隆司、宮崎幸雄

●寄附金

角谷晋次、光永尚生、朴正弘、濱塚有史、佐藤翔、及川茂夫、熊谷力実、水田賢次、南原良哉、中村恵美子、伊藤真一郎、花田瞳、中屋重正、石渡隆司

●東日本大震災被災地支援募金 献品

林辰也、佐々木翔一朗、佐々木朗人、港凱理、岩井和己、学校法人広島YMCA学園、小畑孝子、日本キリスト教団内丸教会、NPO法人茨城YMCA、吉崎陽、捜真小学校(横浜市)、木田泰之、30ニチャリ、ティールコンサート実行委員会、坂田晃一、佐藤大倫、佐藤匡子、松尾聡子、青山学院大学宗教センター、オール青山ハンドベル、佐藤匡子、栄短期大学、人見晃弘、飯島隆輔、吉田純子、山本常雄、阿蘇ワイズメンズクラブ、東京世田谷ワイズメンズクラブ、諏訪治男、富士五湖ワイズメンズクラブ、佐々木千賀子、草津ワイズメンズクラブ、大阪YMCA、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学キリスト教センター、吉岡香代子

●国際協力基金

中条和哉、岩井和己、大開靖二、岡田虎治、熊谷圭祐、伊藤真一郎、フジクリー、岩手、濱塚秋二、濱塚れい子、鶴丹谷三子、魚住英昭、増田隆、今松桂子、熊谷太、濱塚有史、盛岡チャペル、早坂朗、鬼柳忠彦、上中優奈、杉田弘美、小笠原邦夫、山崎詩織、長岡明日海